

PTA 共催「平和に関する講話」 8月1日

今年度も、平和学習の取組として広島市より被爆体験伝承者の方を講師としてお招きし、「平和に関する講話」を全校生徒で聴きました。この平和登校日は令和3年度から始まり今年度で4回目を数えます。毎年、広島市より被爆体験伝承者の方に来ていただき、原子爆弾の恐ろしさや命や平和の大切さについて学びます。

講師の方は家族伝承者としても活動をされており、今回の講話では母親や義父等が実際に原子爆弾投下により体験されたことを交えて講話をしていただき、その後、生徒と感想などを交流しました。

本校では今年度より修学旅行の行き先を広島方面とし、平和や人権について学習をします。今日の講話で学んだことを、現地に行き実際に見て、触れて、体験することを通して深められることを願っています。



被爆2世として
私自身が感じていた事について

私の母の被爆体験

被爆された方々の様子について
戦後の様子について

→ 平和への思い

義父(主人の父)の被爆体験

爆心地から南に
約1.9km離れた軍需工場で